

## 台湾工作機械情報

2015 年 7 月 15 日

東海大学劉研究室

### ● 2015 年度台湾工作機械産業の現状と展望

#### 【当研究室整理】

2015年度の世界経済の体制は疲労状態を見せている。主要市場であるアメリカ、日本、中国、ASEAN国家らは皆輸出減少や内需不振等の減少に見舞われ、景気は相対的に下向いている。このほか、日本円、ユーロ対米ドルレートの長期下落の趨勢は台湾の工作機械産業の輸出に少なからず影響を与えており、日に日に状況は悪化している。加えて中韓FTAが台湾の産業に与える影響が徐々に表面化しており、業界は、台湾工作機械産業は遠くない将来に低迷期を迎えると考えている。

2015年度台湾工作機械第一季累計輸出金額は7.98億米ドルで、去年同期に比べ2%衰退している。中でも金属切削機の累計輸出金額は6.74億米ドルとなっており、去年同期に比べ0.8%わずかに下落している。また金属成型機の輸出金額は1.25億米ドルで、去年に比べ8%減少している。

2015年度第一季の主要輸出機種はマシニングセンターで、輸出金額は2.77億米ドル、総輸出の34.8%を占めており、去年同期に比べ2.4%成長している。旋盤は第二位で、輸出金額は1.79億米ドル、去年に比べ0.2%の減少を見せている。金属成型機の輸出の内、鍛圧・打ち抜き成型機は去年に比べ12.3%衰退しており、輸出金額は9,639万米ドルとなっている。その他成型機は10.4%成長している。

輸出先国家別に見ると、第一位は中国(香港含む)で、輸出額は約2.5億米ドル、去年同期に比べ2.6%下落しており、輸出比重の31.4%を占めている。第二位はアメリカで、輸出額は約8,916万米ドル、全体の11.2%を占め、去年に比べ約1.7%成長している。トルコは第三位で、成長幅は約19.6%となっている。成長の最も多い市場はベトナムで、成長率は34.6%である。

2015年度第一季の累計輸入金額は1.71億米ドルで、去年に比べ8.4%減少している。その内金属切削機の輸入金額は1.52億米ドルで去年に比べ1%成長している。金属成型機の輸入金額は1,902万米ドルで去年に比べ47.5%減少している。

機種別に見ると、金属切削機の輸入中第一位は放電・レーザー・超音波工作機械で、金額は5,435万米ドル、輸入の約32%を占め、去年に比べ4%減少している。輸入第二位は旋

盤で、金額は3,632万米ドル、輸入の約21%を占め、去年に比べ61.6%大幅に成長している。

2015年を展望する。世界の主要経済体の中で、アメリカと中国は貿易の低迷により、景気復興の勢いに影響を受けている。ほか、台湾工作機械産業は日本円、ユーロの値下がりをもたらした衝撃や、競争相手である中国や韓国のFTA政策といった脅威を持続的に受けている。業者は共に、政府がもし関連策略を早急に打ち出さなければ、この低迷は台湾工作機械産業の存亡に大きく影響すると語っている。

### ● 2015 年台湾工作機械の生産高は再び後退に直面しているように見える

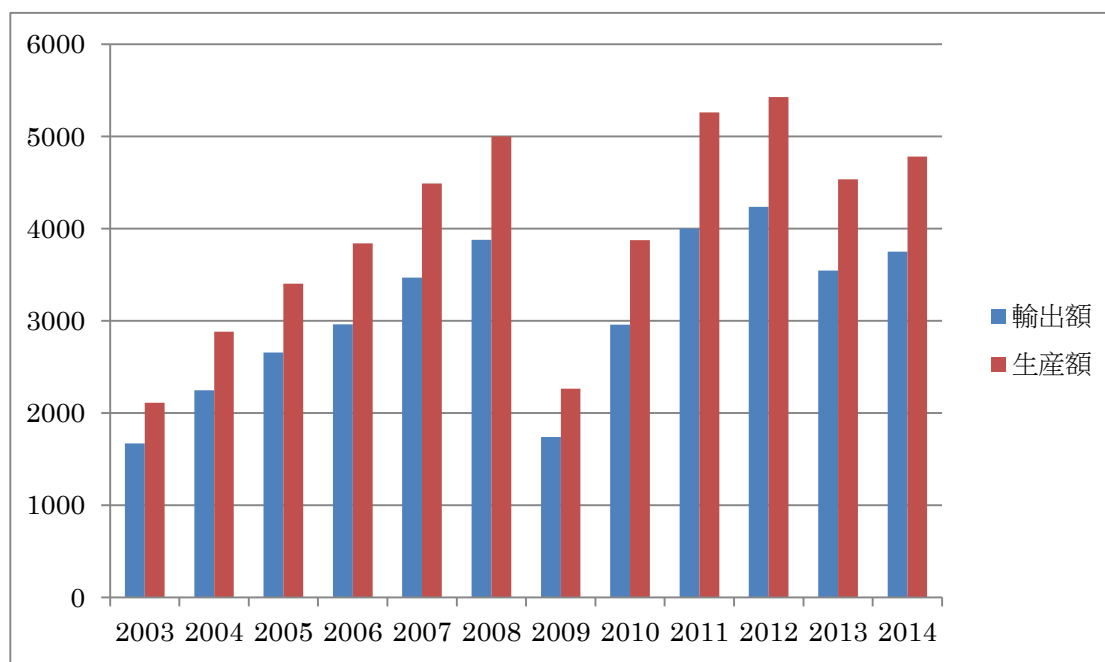


図 2. 台湾工作機械歴年の生産額及び輸出額グラフ (単位：100 万米ドル)

資料：台湾区工作機械・パーツ工業同業公会 (TMBA) 整理

### ● 逆境突破 製造業トップ 1000 入り目指せ

#### 【当研究室整理】

2015 年度台湾製造業トップ 2000 社が五月に発表された。「持続営業成績トップ 50(過去三年の営業収入成長率、税後純利益並びに株主の権益報酬率等が指標)」に入った 52 社の企業の内、製造業は 41 社を占めている。トップ 1000 に入った工作機械類メーカーは 29 社で、友嘉實業が年間営業収入 237.15 億元を以て首位となっている。また上銀科技、中興電工機械、東台精機、亞德客國際集團が、それぞれ工作機械類トップ 5 に入っている。(リストを表 1 に付す)

表 1：2014 年 台灣製造業トップ 1000-工作機械の部

| 工作機械<br>順位 | 2014<br>企業順位 | 企業名      | 2013<br>企業順位 | 2014 年<br>營業額<br>(億元) | 成長率<br>(%) | 利益率<br>(%) | 産業分類 |
|------------|--------------|----------|--------------|-----------------------|------------|------------|------|
| 1          | 148          | 友嘉實業     | 146          | 237.15                | 3.59       | 3.63       | 工作機械 |
| 2          | 227          | 上銀科技     | 259          | 150.87                | 21.25      | 15.94      | パーツ  |
| 3          | 268          | 中興電工機械   | 297          | 113.21                | 12.14      | 6.02       | 工作機械 |
| 4          | 325          | 東台精機     | 369          | 90.74                 | 19.28      | 6.38       | 工作機械 |
| 5          | 345          | 亞德客國際集團  | 375          | 83.79                 | 14.78      | 21.14      | 工作機械 |
| 6          | 363          | 程泰機械     | 446          | 78.17                 | 32.90      | 8.78       | 工作機械 |
| 7          | 386          | 金豐機器     | 416          | 72.26                 | 12.24      | 7.45       | 工作機械 |
| 8          | 410          | 東培工業     | 431          | 67.38                 | 10.31      | NA         | パーツ  |
| 9          | 414          | 友佳國際控股   | 404          | 66.20                 | -0.33      | 7.79       | 工作機械 |
| 10         | 464          | 台勵福      | 464          | 57.75                 | 4.81       | NA         | 工作機械 |
| 11         | 496          | 永進機械     | 512          | 53.16                 | 7.31       | NA         | 工作機械 |
| 12         | 542          | 台灣麗馳科技   | 717          | 47.89                 | 52.03      | 7.48       | 工作機械 |
| 13         | 549          | 台中精機     | 568          | 46.48                 | 8.40       | 1.01       | 工作機械 |
| 14         | 602          | 協鴻工業     | 621          | 40.98                 | 7.11       | 3.17       | 工作機械 |
| 15         | 612          | 協易機械     | 589          | 40.09                 | -1.96      | 4.66       | 工作機械 |
| 16         | 631          | 亞崴機電     | 742          | 39.13                 | 30.74      | 6.98       | 工作機械 |
| 17         | 729          | 恩德科技     | 714          | 32.69                 | 3.29       | 0.52       | 工作機械 |
| 18         | 743          | 台灣瀧澤科技   | 767          | 31.72                 | 11.73      | 9.62       | 工作機械 |
| 19         | 778          | 富強鑫精密工業  | 801          | 29.41                 | 9.62       | 2.79       | 工作機械 |
| 20         | 827          | 油機工業     | 779          | 27.01                 | -2.91      | 6.11       | 工作機械 |
| 21         | 831          | 鋁泰工業     | 1013         | 26.88                 | 46.25      | 6.03       | 機械設備 |
| 22         | 847          | 崴立機電     | 810          | 26.40                 | -0.23      | NA         | 工作機械 |
| 23         | 874          | 達佛羅企業    | 861          | 25.15                 | 4.75       | 7.59       | 工作機械 |
| 24         | 876          | 巨庭機械     | 983          | 25.04                 | 28.15      | 5.23       | 工作機械 |
| 25         | 880          | 福裕事業     | 886          | 24.73                 | 7.48       | 1.05       | 工作機械 |
| 26         | 894          | 遠東機械工業   | 896          | 23.99                 | 6.81       | 5.46       | 工作機械 |
| 27         | 895          | 大量科技     | 905          | 23.98                 | 9.20       | 9.92       | 機械設備 |
| 28         | 935          | 台灣麗偉電腦機械 | 976          | 21.68                 | 9.49       | 6.13       | 工作機械 |
| 29         | 958          | 高鋒工業     | 960          | 20.96                 | 3.76       | 8.11       | 工作機械 |

【資料：製造業トップ 2000 社順位，2015。天下雜誌】

次に、六位から十位のメーカーには程泰機械、金豐機器、東培工業、友佳國際控股、台勵福がおり、

年間営業収入は約 57～78 億元となっている。ほか、永進、台灣麗馳、台中精機、協鴻工業、協易機械、亞崴、恩德、台灣瀧澤、富強鑫、油機、鋁泰並びに崴立等多くの業者は皆トップ 1000 に入っており、営業収入は概ね 26～53 億元の間となっている。

## 工作機械業大手の経営動向 - 百億の営業収入、買収加盟加速

**友嘉實業** 年間営業収入 237.15 億元、製造業トップ 2000 の内 148 位で、去年に比べ 2 位下落している。営業収入成長率は 3.59%で、獲得利益率は 3.63%となっている。同社は 1980 年より M&A や規模拡大を開始しており、グループ営業収入の急速な成長をもたらしている。また世界買収策略を用いてグループ資源の相互補助や利益の相互獲得を促し、新たな強みを打ち立てて多くのブランド策略を展開し、毛色の違う市場も経営している。

**上銀科技** 年間営業収入 150.87 億元、トップ 2000 の内 227 位で、去年に比べ 32 位上昇している。

営業収入成長率は 21.25%で、獲得利益率は 15.94%となっている。上銀科技の成長は、後続のキーパーツメーカーの道しるべとなっており、ボールねじ、リニアレール及び工業ロボット等三大主力製品を以て驚くべき受注量・生産量を誇っている。積極的に自社ブランドを推し進めるほか、同社は更に積極的に基礎工業に力を注ぐと同時に優れた研究開発能力を組み合わせ、スマートフォンの生産ラインやオートメーション化関連の問題解決に役立っている。

**東台精機** 年間営業収入 90.74 億元、2000 位中 325 位で去年に比べ 44 位上昇している。営業収入成長率は 19.28%、利益率は 6.38%となっている。東台精機は策略連盟方式を以て立て続けに榮田精機、亞太菁英、譚泰精機等の企業と協力関係を結んでおり、同社の金属切削領域における生産ラインを完璧なものとしている。また顧客により完璧な Turnkey ソリューションプランを提供している。

## ● 産業ニュースの要約

円下落の効果現る 日本工作機械注文増 3 月の金額新記録

【2015/04/10 MoneyDJ 新聞】

日本工作機械工業会(JMTBA)はこう語る。内需注文が大幅に増え、2015 年 3 月の日本工作機械全体の注文金額は去年同月に比べ 14.6%成長し 1,470.94 億円となった。要因は二つある。円が緩やかに下落し、年末に効果が表れたことが日本の中小企業の設備更新ニーズを刺激し、内需を増加させた。またアメリカ自動車用工作機械のニーズが増え続けていることから海外注文の成長を促した。

## 輸出衰退と台湾ドル値上がり 機械業苦しむ

【2015/04/11 中時電子報】

台湾の 3 月の機械業の輸出額は年減 5%であった。総合輸出衰退率 8.9%より低いものの、台湾全体の産業競争力が弱化していることを表している。その内工作機械の 3 月の輸出額は 3.02 億米ドルで、去年同期に比べ 9.8%衰退している。また第 1 季の輸出額は 7.98 億米ドルで、去年同期に比べ 2%衰退している。

日本円、ユーロ及び韓国ウォン対米ドルレートは下落し続けているが、台湾ドルは逆に上昇しており、国内機械業は製品価格を下げねばならない苦境に立たされている。特に台日機械及び工作機械業者間の価格差は 10%以内にまで縮小しており、顧客は価格比較後台湾メーカーに値下げを要求している。そしてこの要求が達成されなければ延期或いは取引停止するとしており、業者は進退窮まる状況に嵌っている。これも現在国内機械業者が注文満杯であるのに出荷不能或いは出荷遅延を起こしている主原因である。

## 台湾工作機械：生産額は第七位、輸出は第四位

【2015/04/15 中時電子報】

米国 Gardner Business Media,Inc.の統計によれば、2014 年度世界工作機械総生産額は 813 億元で 3.1%の減少となった。生産国トップ 5 はそれぞれ中国、ドイツ、日本、韓国及びイタリアである。台湾は 47 億米ドル(5.8%)で第七位である。総生産額は韓国に比べ低いものの、台湾は輸出を主としており(37.5 億米ドル、世界第四位)、内需の割合は比較的低い。対して韓国工作機械の内需は比較的大きく輸出額は 2.4 億米ドルで第七位である。取り上げるべきは台湾の輸出は徐々にイタリア(輸出額 38.3 億米ドル)に追いついている点である。また中国も後をつけており、その成長は速い。

アメリカの製造業回帰の趨勢の下、ここ数年工作機械のニーズは成長を続けている。日本も円下落の中で輸出競争力を高めており、投資ニーズに影響を与えている。去年の世界工作機械の総需要は 755 億元で、トップ 5 は順に中国、アメリカ、ドイツ、日本、韓国となっている。台湾のニーズは 17 億元(2.2%)に止まり、世界第九位であった。

## 大陸を攻めるカギ 国産制御装置

【2015/04/21 中央社】

IEK によると、台湾工作機械は輸出に傾いた産業であり、去年の輸出比重は 76.9%であったとのこと。輸出先の主な国家は中国、アメリカ及びヨーロッパで、この三市場の景気動向は台湾工作機械の生産額を予

測するためのカギである。旋盤は台湾の中国輸出における主力の一つであるが、2016 年からは製品特定原産地規則(PSR)に当てはまらない ECFA 早期収穫リスト中の機種であり、5.0%～9.7%の輸入関税が復活した暁には台湾工作機械の中国市場での競争力を弱めるだろう。また工作機械数値制御システム製品の PSR 規定については、中国或いは台湾で生産され且つ地域生産額含量が 50%以上である必要があり、満たされなければ優遇税率は適用されない。よって台湾国産制御装置全体のソリューションプランは発展の肝である。

台湾工作機械の欧米における主要競争相手は日本であるが、円下落が両者の価格差を急速に縮め、台湾が輸出したハイエンド機種と日本製のミドルエンド機種との激しい価格競争を引き起こしている。

## 台達電 工作機械業のダークホースに

【2015/04/21 聯合晩報】

IEK はこう話す。世界の工業 4.0 スマート製造の潮流に従い、工作機械産業は国産制御装置の機能を向上させねばならない。台達電の市場入りは遅かったものの総合ソリューションプランを駆使して市場の見通しを確保した。同社が自身で研究開発した工作機械制御システム三大パーツには、制御装置、サーボモーター、駆動器があり、一貫したシステムを顧客に提供している。

百徳機械總經理廖子恩は語る。制御装置の国産化は、産業が将来競争力を維持できるか否かのカギである。政府は工作機械産業を育成し輸出を刺激しているものの、メーカーは続く販売後サービスのコストに妨げられ輸出市場に力を注ぐことは難しくなっている。政策面においては先に内需を鼓舞して国産化し、過半を占めた後に輸出を推進するべきであると提案する。

## 工作機械 内憂外患 業者レート政策望む

【2015/04/22 中央社】

百徳機械總經理廖子恩によれば、今年台湾工作機械産業は「内憂外患」に面しているという。対外的にレートや関税の問題を抱えており、レート政策が工作機械産業を救うことに期待している。製品側から見ると、ハイエンド製品は日本と欧州の激しい競争に曝されており、ミドルエンド製品は韓国とアメリカの挑戦を受けている。また中国やインドはローエンド市場の主要な競争相手である。内憂については、以前はサプライチェーンが相対的に整っていたものの、この優位性は徐々に失われつつある。

彼はこう提案する。レート政策は工作機械産業を助け、少なくとも業者らに一服の機会を与える。政府は更に IT 化産業を推進し、積極的にソフト並びにインターフェイス設計等の領域を深化させるべきである。

## 東台 航空産業に攻め込む 新工場に着手

【2015/04/24 經濟日報】

工作機械大手東台精機董事長嚴瑞雄はこう発表した。「2020 年までに世界工作機械グループトップ 20 入りを目指す」といったグループ目標を果たすため、新工場(路科二廠)が来年第二季より始動する予定であり、東台の航空産業における競争力を向上させる見込みである。新工場は主に横式マシニングセンター、横式中ぐり・フライス盤、航空級五軸横式加工設備及び大型動フライス盤等のシリーズ機種を生産しており、一部の工廠が加工した自主パーツも利用している。目玉となる自動車産業については、「横式加工オートメーション化生産ライン」を導入し、自動車業に完全な生産プランを提供している。航空産業については、路科二廠が将来的に横式加工・横式中ぐりシリーズ製品を含む各式航空専用中大型設備を生産する予定である。

## 台湾とインド 産業投資連携強化

【2015/04/28 中央社】

台湾とインドは本日合同グループ会議を開いた。双方は産業及び相互投資を強化することが台湾の中小企業業者のインド市場開拓に貢献し、両国に利益をもたらすと考えている。会議では主に、現在双方が推進している産業連携が金融業の監理協力を求めていることについてや、中小企業連携備忘録についての交渉・相談、台湾インド優良企業(AEO)相互承認の推進並びに ICT 産業人材交流と連携の推進等の議題が話し合われた。いかにして台湾とインドの太陽光エネルギー、情報・通信、工作機械及び食品加工産業の面での連携を強化していくかを相互に討論していくことが望まれる。

国貿局によれば、インドは、台湾の電子情報及び工作機械産業がインドと産業チェーン協力関係を構築し、台湾が輸出した中間製品をインドにて製造し、インド新政府の「Make in India」といった施政目標の達成に貢献することを望んでいる。

## 海外通貨相次いで値下がり 工作機械受注ゆるやかに

【2015/05/04 工商時報；2015/05/19 經濟日報】

台湾ドル対米ドルのレートが 31 元を超え、日本円やユーロのレートが相対的に下落した。結果台湾の多くの工作機械メーカーの価格競争力が弱まった。国内工作機械産業の輸出比重は約 80%である。しかし新台幣ドルが値上がり業者の耐久ラインを超えている。新台幣ドル対米ドルのレートが 1 元上がるごとに、メーカーの総収益は 2%減少する。

台湾区工作機械・パーツ公会はもともと国内工作機械メーカーの今年の初期受注を盛況なものを見ていたが、日本円の 50%超の下落並びにユーロの 13%超の下落により世界の買主の台湾への注文に影響が出始めている。統計によれば、台湾工作機械の今年一月の輸出は去年同期に比べ 16.1%成長している。しかしその後三か月は衰退の一途をたどっており、それぞれ 10%、9.8%、15.7%となっている。前四か月の累計輸出金額は 10.68 億米ドルで、去年に比べ 5.9%衰退している。

## 中国ロボットビジネスチャンス 規模千億超える見込み

【2015/05/21 聯合報】

台湾の工作機械及びゴム・プラスチック業の注文は 30%が中国のものである。特に珠江デルタの深圳、東莞、広州等の都市並びに昆山一帯は「機器換人」政策を既に推し進めており、大量の IT ロボットを生産ラインにて運用している。ロボット製品のニーズは増えており、中国のロボットビジネスのチャンス規模は千億人民ドルを超えると見込まれている。

ほか、台湾工作機械はミドル・ハイエンド製品を主としており、対して中国は多くがミドル・ローエンド製品である。深圳の成長は著しいものの、台湾が長年培ってきた技術や経験の優位性は依然として大きい。中国、インドの業者が安価手法を以て攻めたとしても、台湾の品質がわずかに優るだろう。

## 自動車メーカー生産能力回帰！日本四月の工作機械注文金額記録突破

【2015/05/21 MoneyDJ 新聞】

日本工作機械工業会(JMTBA)の統計データによると、日本の自動車メーカーの生産能力回帰及び内需の復活で今年四月分の日本工作機械全体の注文金額は去年同月に比べ 10.5%成長し 1,346.21 億円となった。19 か月連続で増加を見せており、歴年同月の記録を破っている。

自動車用工作機械のニーズが激増したことにより、四月の日本工作機械内需注文金額は去年同月に比べ 39.0%と大幅に増え 484.7 億円、22 か月連続の成長となった。総体比重の約七割を占める輸出金額は欧米のニーズの衰えにより 1.0%下落し 861.6 億米ドルとなり、17 か月連続の成長に終止符が打たれた。

JMTBA 会長花木義磨はこう語る。以前のレート水準がメーカーの輸出に有利に働いたことにより、生産能力の日本回帰や日本での増産投資がもたらされ、四月の日本国内自動車用工作機械の注文は 78.4%激増している。

## ブラジル工作機械展 台湾メーカー南半球で光放つ

【2015/05/21 中央社】

ブラジル国際金属加工展はラテンアメリカで最も重要かつ最大の金属加工機械設備専門展である。台湾工作機械産業の知名度を上げるため、外貿協会は展覧期間において各メディアを手配し台湾メーカーのブース一つ一つ紹介させ、またイメージ広告を掲げて総合販売利益の強化を図った。崑崙機電は自動車パーツソリューションプランを発表し、喬威進科技は五軸龍門マシニングセンター応用を打ち出し、また上銀科技はブラジルのオートメーション化のニーズ上昇に応じて多式六関節・SCARA ロボットアームを発表した。同社は更にオートメーション化システムサービスも提供するとしている。

去年のブラジル工作機械の輸入総額は大幅に衰退しているものの、台湾のブラジルへの輸出における市場占有率は依然として 2013 年の 6.34%から 7.56%と微成長しており、第六位の順位を保っている。これは台湾工作機械が今だブラジルの製造業者に好まれていることを物語っている。

## ロシア金属加工展 台湾工作機械注目受ける

【2015/05/28 中央社】

台湾工作機械メーカー各社が「ロシア国際金属加工展」に参列した。駐ロシア代表処によれば、ロシアは 79% の工作機械ニーズを輸入に頼っている国であり、欧州の経済制裁を受けた後は積極的にアジアとの協力関係を発展させている。今回、台湾工作機械と金属加工設備展はロシアのヘビー級代理店の注目を受けている。

台湾側の展示のテーマは「オートメーション化から IT 化—工場 IT 製造の実現」であり、パーツの精密度や複雑度、並びに台湾産の制御装置の現場展示を通して台湾工作機械の完全なサプライチェーンや先進技術を広めた。

駐ロシア代表陳俊賢はこう語っている。台湾工作機械の 2014 年の生産額は約 54.3 億米ドルで、その内八割が輸出である。輸出先は世界 138 か国に及び、世界第四位の工作機械輸出国となっている。ロシアは台湾にとって第七位の輸出先市場であり、将来台湾はロシアの工業成長において重要なパートナーの役割を演じ続けることになるだろう。

## 円下落 影響大きく

【2015/05/29 経済日報】

台湾中央銀行によれば、日本円の下落には四つの影響があるという。一つは台湾の日本に対する貿易入超の削減に有効であること。二つ目は台湾人が日本に旅行した際の購買力が増加すること。ただ反対に日本人が台湾に旅行した際の購買力が下がり、日本人観光客の消費意欲低下につながる。三つめは日本企業の台湾での投資意欲に衝撃を与えること。しかし台湾企業が日本の技術を購入する点においては有利に働く。四つ目は台湾企業の日本からの輸入製品コストが下がると見込まれる点である。

日本は台湾の主要な輸入元国である。日本円が再び下落し、輸入製品は更に安価となった。円下落は韓国ウォンに影響を与えている。もしウォンまで値下がりすれば、新台幣ドルのレートは一強とはなりえないだろう。将来の下落の確率は高い。

## 工作機械の中国輸出減少 レートが唯一の原因ではない

【2015/06/01 中央社】

中央銀行副総楊金龍は語る。台湾工作機械の中国への輸出が 7.2% 減少した。主な要因は中国の経済成長の停滞やニーズの減少で、同時に市場競争等構造上の問題に面している。レートが輸出に影響する唯一の原因ではないのである。また兩岸は徐々に垂直分業生産から水平競争に転じており、台湾の輸出に対する脅威は日ごとに増えている。

台湾の輸出は長期要素の影響を受けている。中国は台湾の主要輸出市場で、約四割を占めている。しかし中国は自前のサプライチェーンやブランドを定着させてきており、代替戦略の効果も徐々に表れ始めている。

加えて台湾工作機械のニッチ戦略は価格の低さにあるが、近年国際大手のハイエンド機種は低価格化も進んでいる。台湾のメーカーと国際大手の価格差は減少しており、メーカーが中国の生産現地において必要としている機種は受注再輸出の優位性を下げている。

Global Insight の最新の予測によれば、今年の世界の経済成長率は 2.7%で去年の 2.8%よりも低く、特に中国の経済成長停滞や輸入ニーズの減少は各国の輸出増加に不利に働いている。ただ下半期の原油価格は基準期間に比べ低くなっており、需要と供給のバランスが回復すると見込まれることから、輸出へのショックは減少すると考えられる。

## 内需盛況 日本五月の工作機械注文額新記録

【2015/06/10 MoneyDJ 新聞】

日本工作機械工業会によれば、内需注文が大幅に増えたことから今年五月の日本工作機械全体の注文金額は去年同月に比べ 15.0%上昇し 1,385.44 億円となったとのこと。その内、自動車用・一般機械用工作機械のニーズが強く、五月の内需注文金額は去年同月と比較して 44.4%大幅に増え、530.21 億円となった。全体の七割を占める輸出注文金額も中国、アメリカからの車用ニーズが増加したことにより 2.1%成長し 855.23 億円となった。

2015 年 1-5 月間の日本工作機械全体の累計注文金額は去年同期に比べ 17.4%成長し 6,731.42 億円となった。その内内需注文額は 34.0%成長し 2,381.50 億円となっている。また輸出注文額は 10.0%成長し 4,349.92 億であった。

## 工作機械輸出減 台湾ドルレートに救いの手を

【2015/06/13 中央社】

5 月の税関輸出入貿易統計によれば、台湾工作機械の輸出は去年 5 月に比べ 0.3 億米ドルの減少で、減少幅は 9.8%である。今年前 5 か月の累計輸出は去年同期に比べ 1.0 億米ドルの減少、その幅は 6.7%となった。

今年世界の産業景気は相対的に保守的であり、中国株の過熱から実体経済の状況は芳しくなく、産業界の工作機械に対する購買意欲は低い。欧州景気は復活の兆しを見せているものの、アメリカ景気の復活は望み薄である。新興市場に属する ASEAN 体系は中国経済不調のあおりを受け、産業全体の稼働率は低くなっており、日本や台湾の工作機械に対する購買意欲に影響を及ぼしている。

全体的に見て、世界市場景気は観察の必要がある。台湾やその他の主要国家の現在の輸出状況は予測と外れている。日本円とユーロの下落は直接台湾工作機械の輸出に衝撃を与えている。業者並びに公会は政府に新台幣ドルのレートに対し処置を行い、メーカーが面している状況を十分理解するよう求めている。

## ミャンマー進出 貿易協会 メーカー率い展示会を開催

【2015/06/21 台湾醒報】

ここ二年来、ミャンマーは世界の投資の関心の的に躍り出ている。機器や運輸設備のニーズが増加しており、貿易協会は台湾メーカーを率いてミャンマーに進出し、ブランドや製品を展開して現地市場に根を張ることを決定した。ミャンマーでの商機をつかむため、貿易協会や車両公会等は手を携え、「2015 年ミャンマー国際電機電子・電力設備展」、「2015 年ミャンマー国際自動車・バイクパーツ展」、「2015 年ミャンマー国際工作機械・オートメーション化設備展」を開催し、参加メーカーの注文獲得や ASEAN 市場開拓に貢献した。

統計によると、ミャンマー政府が認可した外国人投資金額は 1988 年から 2014 年三月までに既に 684 件に達しており、金額は 463 億米ドル近くとなっている。その内中国のミャンマーに対する累計投資金額は約 140 億米ドルで、第一位の外資である。

## 漢翔 工作機械産業と連携 商機つかむ

【2015/06/26 經濟日報】

2020 年、世界に向け三万八千機の新型航空機を納品し、総生産額は 5 兆米ドルと見込まれる漢翔は国内工作機械メーカー率いて共に莫大な加工設備の商機をつかむ予定である。その内ボーイング、エアバス等大型航空会社は皆コスト向上や加工設備の「現地生産」を要求しており、一つの風潮となっている。台中は瀨光機械産業の重鎮であり、将来航空産業に昇華することが望まれている。

データによると、漢翔が先 5 年間で実現できる手元注文は 1,000 億台湾ドルを超えているとのこと。生産能力のニーズに応じ、立て続けに投資や工場建設を行っており、先数年で購入予定の航空加工設備の金額は平均 5～6 億元とされている。

## 台湾メーカー 台湾ドルの相対的有利を利用 機に乗り海外メーカー買収

【2015/06/27 工商時報；2015/06/29 鉅亨網】

台湾工作機械業者は不満を抱えている。台湾工作機械はもともと日本製 CNC 旋盤と 30%～35%の価格差があったが、日本円の下落幅が 50%を超え、大幅に差が埋まっている。また日本製機器が台湾製より安価な事態が発生し、多くの顧客が日本から工作機械を購入する状況に転じている。加えてユーロの下落は台湾工作機械業の海外注文に二重の打撃を与えている。

台湾の今年前 5 か月の工作機械の輸出額は 13.6 億米ドルで 6.7%の減少である。日本工作機械工業会の統計データによると、同時期の日本工作機械全体の注文金額は去年同期に比べ 17.4%成長している。業者は台湾工作機械メーカーの下半期の受注は依然大幅に下落し続けると予想している。

ほか、東台や友嘉實業は機に乗り新台幣ドルの相対的有利性を利用して外国メーカーを買収することが可能であると考えている。東台はフランスの PCI-SCHEM 及びオーストリアの mbi グループを買収し、また友嘉はドイツの MAG グループ及び日本の池貝等を買収している。

## 顧客からの値下げ要求相次ぐ 工作機械産業阿鼻叫喚

【2015/07/01 経済日報】

日本円対米ドルレートの変動幅は既に 50%を超え、ユーロ対米ドルの変動幅は 25%～30%に達している。また新台湾ドル対米ドルレートは第二季も上昇を続けており、工作機械産業の受注と輸出に深刻な打撃を与えている。特に日本と欧州は全世界にミドル・ハイエンド機種を供給しており、比重は 50%に達している。円とユーロの下落はその工作機械製品の競争力を大幅に増加させ、台湾の工作機械産業は正面から衝撃を受けて既に世界の顧客の値下げ要求に曝されている。データによると、韓国工作機械大手もまた値下げの圧力に面しており、北米市場に対し 7%の価格値下げを発表している。台湾メーカーもこうした価格協議の場に放り込まれているのである。

## 東台グループ オーストリア msi グループの株 76%買収

【2015/07/06 工商時報】

国内工作機械業の最近の受注はレート及び市場の影響を受けており、動向は予測と異なっている。よって東台グループは積極的に製品ラインを調整し集団内部の資源を整理している。これにより安定した経営手法を以て市場の挑戦に立ち向かうのである。今年三月にフランス PSA 自動車グループ傘下の PCI-SCHEM 工作機械廠の 100%の株権を正式取得しただけでなく、後に 1,080 万ユーロを出資して正式にオーストリア msi グループの株式 76%を買収し、Anger 及び HPC 等二社のメーカーの株権 76%も取得すると発表している。

東台グループによれば、PCI の turnkey の能力は当グループの欧州市場展開に役立つとのこと。また Anger の伝送マシニングセンターは最高級の製品であり、一線級の自動車メーカー大手の顧客と相対することが出来る。これによりさらに多くの自動車産業のニーズを掌握することだろう。

## 日本三共の Rodax ブランド 工作機械の価値上げる

【2015/07/07 経済日報】

世界最大のカム製造商「三共製作所」は二年前台湾に支店を設立したのち、積極的に台湾工作機械メーカーと開発連携を進めている。日本の技術や現地でのサービスを提供しており、世界生産の優位性を以て、国際競争力を備えた優良な製品とサービスを作り出すことに尽力している。

「三共製作所」は今年台湾に現地法人並びに工場を設立する予定で、台湾現地の価格に近付けたうえで三共の一貫した優良製品を提供し、台湾工作機械業者と共に世界競争の中で手を取り合い成長していくことを希望している。三共台湾支社の前山勇樹部長はこう語っている。Rodax ブランド(三共の新商標)は工作機械領域に応用され、日本の設計を導入し三共の品質を維持している。価格は競争力を備えている。また広州で生産製造された製品ラインは台湾の価格市場に近く、競争力が向上している。

## 輸出不振 經濟部短中長期政策始める

【2015/07/08 中時電子報】

世界經濟の成長状況が予測と異なり、原油価格と原材料価格の国際的下落や中国景気の停滞、欧州・日本 QE が台湾の輸出に与える圧力並びに多くの国が行っている貿易救済措置等多数の要素の影響の下、6 月の台湾の輸出は 13.9%、輸入は 16.1%減少した。また出超は 15%上昇し上半期の累計輸出は 1,424.3 億米ドル、7.1%下落した。

今年の輸出不振の情勢に対し、經濟部は短中長期対応政策を模索している。短期については、台湾の主要輸出衰退市場や不振且つ開拓の可能性がある製品や将来有望な輸出製品に対し、30 に及ぶ発展政策を実施し、工場整理プランを強化し、積極的融資援助及び輸出ローンを強化している。中長期については発展性のある新興解決プラン、例えば IT 製造、ウーレンワン(IOT)、ビッグデータ、生産力 4.0 等に着目している。また海外の生産地帯を参考にし、投資によって輸出を促進し、台湾の輸出エネルギーを向上させるねらいがある。

## 6 月の機械設備輸出 2 ケタの衰退

【2015/07/08 工商時報】

統計によると、台湾機械設備の 6 月の輸出額は 16.9 億米ドルで、去年同期に比べ 11.9%衰退している。また上半期の累計輸出金額は 101.2 億米ドルで、去年同期に比べ 0.4%わずかに減退している。台湾機械業は円とユーロの二大通貨下落の挟撃に遭っている。特に円、ユーロのレートは 2002 年の水準にまで落ち込んでおり、もし新台幣ドルが 33～34 元まで下がらなければ、今年の工作機械の輸出は 10～15%衰退すると見込まれる。また 6 月には国内輸出連続 5 か月衰退となったのみならず、電子、機械、情報通信、鉄鋼、石油化学製品等主要輸出産業は全面的に 2 ケタの衰退期に突入している。

## 日本 6 月の工作機械注文年増 6.6% 年額連続 21 か月の上昇

【2015/07/09 財訊新聞】

日本工作機械工業会のデータによると、6 月の日本工作機械全体の注文金額は去年同期に比べ 6.6% (1,360.57 億円)上昇し、年比較額連続 21 か月上昇を記録した。また 6 月の日本国内の注文金額は去年同期に比べ 41.4%成長し 603.13 億円となった。これは前月に比べ 14.1%の増加である。6 月の海外注文は去年同期に比べ 10.9%の下落で 757.44 億円となった。これは前月に比べ 11.6%の下落である。